
GRAPH y -軸の系列名 x -軸の系列名 ;

機能 :

GRAPH は、2つの系列間の散布図を各系列の範囲から決めたスケールで描きます。

もし複数個の点がグラフ上で同一になるならば、それが9個以下の場合はその個数を印刷します。もし10以上、35以下の観測値が1点に重なるばあいは、A から Zの文字がプロットされます。もし35を越える観測値が重なるなら、X がプロットされ、その点の個数が X の値の順に並べてグラフのあとに示されます。観測値が欠落している場合は、プロットされません (警告メッセージがプリントされます)。

使用法:

GRAPH に続けて横軸にプロットする変数名、つぎに縦軸にプロットする変数名を書きます。

例:

```
GRAPH TIME COSINE;  
GRAPH X Y ;
```

アウトプット:

GRAPH は一頁のグラフをプリントします。グラフは枠で囲まれラベルがつけられます。

グラフのサイズはプリンタの幅をきめるオプションである LIMPRN と頁の長さを決めるオプション LINLIM によって決められます。これらのオプションはTSPの実行の最初でセットされますが、OPTIONS コマンドによって変更することもできます。もし OPTION CRT ; コマンドを使用しているならば、幅は80文字、高さは24文字にセットされます。

GRAPH はデータ領域にデータを保存しません。